

2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年1月13日

東・福

上場会社名 株式会社エムビーエス 上場取引所
 コード番号 1401 URL <https://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼 (氏名) 栗山 征樹 (TEL) 0836-54-1414
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の業績 (2022年6月1日~2022年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	1,775	5.6	141	18.8	158	18.7	107	19.8
2022年5月期第2四半期	1,682	28.1	119	102.6	133	57.0	89	60.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年5月期第2四半期	14.08		—					
2022年5月期第2四半期	11.58		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	3,829	3,016	78.8
2022年5月期	3,841	2,983	77.7

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 3,016百万円 2022年5月期 2,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年5月期	—	0.00			
2023年5月期(予想)			—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の業績予想 (2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	4.2	462	5.0	500	5.3	340	4.3	44.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年5月期2Q	7,732,000株	2022年5月期	7,732,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年5月期2Q	171,600株	2022年5月期	100,000株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年5月期2Q	7,601,052株	2022年5月期2Q	7,714,679株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期損キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限の緩和等により社会経済活動の回復に向けた動きが見受けられたものの、ウクライナ情勢に起因するエネルギー、原材料価格の上昇の継続、円安に伴う物価上昇の更なる高まりにより、厳しい状況が続き先行き不透明な状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、引き続き感染予防に組織的に取り組みつつ、既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第2四半期累計期間における売上高は、1,775,763千円(前年同期比5.6%増)となりました。営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により141,542千円(前年同期比18.8%増)となりました。経常利益は、158,538千円(前年同期比18.7%増)、四半期純利益は、107,030千円(前年同期比19.8%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、工事の一時中断や工事の延期、受注の遅れや着工の後ろ倒し等の影響を受け、売上高は1,618,431千円(前年同期比1.6%減)となり、セグメント利益は228,194千円(前年同期比5.9%増)となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築工事・改修工事等が増加したため、売上高は153,883千円(前年同期比331.8%増)となり、セグメント利益は17,742千円(前年同期は5,049千円のセグメント損失)となりました。

(その他)

不動産売買取引を行う不動産事業とFC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は3,448千円(前年同期比145.6%増)となり、セグメント利益は1,255千円(前年同期比88.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ11,449千円減少し、3,829,899千円となりました。これは主に、現金及び預金の227,229千円の減少、未成工事支出金の33,631千円の減少、仕掛販売用不動産の127,581千円の増加、電子記録債権の50,025千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ45,159千円減少し、813,056千円となりました。これは主に、支払手形の114,018千円の減少、未払法人税等の26,255千円の減少、工事未払金の70,582千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ33,710千円増加し、3,016,842千円となりました。これは主に、利益剰余金の68,870千円の増加、自己株式の取得による36,634千円の減少等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、2022年7月13日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483,812	1,256,582
電子記録債権	31,373	81,399
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産	774,592	811,764
売掛金	20,003	62,728
未成工事支出金	119,949	86,318
仕掛販売用不動産	111,189	238,770
原材料及び貯蔵品	18,225	17,814
その他	40,539	25,479
貸倒引当金	△10,335	△9,416
流動資産合計	2,589,350	2,571,440
固定資産		
有形固定資産	166,655	152,396
無形固定資産	30,772	24,845
投資その他の資産		
投資有価証券	304,070	306,192
投資不動産	448,948	447,886
その他	321,874	347,037
貸倒引当金	△20,324	△19,899
投資その他の資産合計	1,054,569	1,081,216
固定資産合計	1,251,997	1,258,458
資産合計	3,841,348	3,829,899
負債の部		
流動負債		
支払手形	298,097	184,079
工事未払金	245,266	315,848
買掛金	43,840	78,717
未払法人税等	84,129	57,873
完成工事補償引当金	43,453	48,145
その他	140,191	125,195
流動負債合計	854,978	809,859
固定負債		
資産除去債務	1,948	1,950
その他	1,290	1,247
固定負債合計	3,238	3,197
負債合計	858,216	813,056

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	391,329	391,329
資本剰余金	400,096	400,096
利益剰余金	2,217,983	2,286,854
自己株式	△51,853	△88,487
株主資本合計	2,957,556	2,989,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,575	27,049
評価・換算差額等合計	25,575	27,049
純資産合計	2,983,131	3,016,842
負債純資産合計	3,841,348	3,829,899

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
売上高	1,682,327	1,775,763
売上原価	1,202,383	1,244,091
売上総利益	479,943	531,672
販売費及び一般管理費	360,835	390,129
営業利益	119,108	141,542
営業外収益		
不動産賃貸収入	7,597	7,424
有価証券利息	7,166	8,984
貸倒引当金戻入額	-	386
その他	2,838	4,660
営業外収益合計	17,602	21,456
営業外費用		
支払利息	57	20
貸倒引当金繰入額	476	-
支払手数料	703	1,151
減価償却費	1,184	2,518
その他	687	769
営業外費用合計	3,109	4,460
経常利益	133,601	158,538
特別利益		
固定資産売却益	403	816
特別利益合計	403	816
特別損失		
固定資産売却損	-	42
特別損失合計	-	42
税引前四半期純利益	134,004	159,312
法人税、住民税及び事業税	42,146	52,606
法人税等調整額	2,527	△324
法人税等合計	44,673	52,281
四半期純利益	89,330	107,030

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	134,004	159,312
減価償却費	12,832	18,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,264	△1,344
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	3,670	4,691
受取利息及び受取配当金	△8,087	△9,766
支払利息	57	20
有形固定資産売却損益(△は益)	△403	△774
投資不動産賃貸収入	-	△7,424
投資不動産賃貸費用	-	568
売上債権の増減額(△は増加)	△52,160	△129,922
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,800	△93,537
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,375	△8,558
助成金収入	-	△843
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△49,467	5,233
その他	△45,275	△3,045
小計	△146,267	△66,839
利息及び配当金の受取額	5,699	7,034
利息の支払額	△57	△20
法人税等の支払額	△105,652	△77,053
助成金の受取額	-	843
営業活動によるキャッシュ・フロー	△246,278	△136,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	500	3,911
投資不動産の賃貸による収入	-	7,424
投資不動産の賃貸による支出	-	△568
保険積立金の積立による支出	△21,932	△27,113
有形固定資産の取得による支出	△15,450	-
無形固定資産の取得による支出	△2,750	△295
貸付金の回収による収入	15	1,160
敷金及び保証金の差入による支出	△664	△251
敷金及び保証金の回収による収入	60	340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,221	△15,391
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△24,510	△36,634
配当金の支払額	△23,196	△38,160
リース債務の返済による支出	△828	△867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,535	△75,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△335,065	△227,229
現金及び現金同等物の期首残高	1,403,477	1,483,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,068,411	1,256,582

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式71,600株の取得を行っております。この結果、当第2四半期会計期間末において、自己株式が36,634千円増加しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,645,288	35,634	1,680,923	1,404	1,682,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,645,288	35,634	1,680,923	1,404	1,682,327
セグメント利益又は損失(△)	215,578	△5,049	210,529	665	211,195

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	210,529
「その他」の区分の利益	665
全社費用(注)	△92,086
四半期損益計算書の営業利益	119,108

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,618,431	153,883	1,772,314	3,448	1,775,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,618,431	153,883	1,772,314	3,448	1,775,763
セグメント利益	228,194	17,742	245,937	1,255	247,193

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	245,937
「その他」の区分の利益	1,255
全社費用(注)	△105,650
四半期損益計算書の営業利益	141,542

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	計		
ホームメイキャップ工事	1,403,683	—	1,403,683	—	1,403,683
足場工事	33,783	—	33,783	—	33,783
建築工事	—	35,634	35,634	—	35,634
材料販売	207,821	—	207,821	804	208,625
その他	—	—	—	600	600
顧客との契約から生じる収益	1,645,288	35,634	1,680,923	1,404	1,682,327
外部顧客への売上高	1,645,288	35,634	1,680,923	1,404	1,682,327

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

当第2四半期累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	計		
ホームメイキャップ工事	1,403,602	—	1,403,602	—	1,403,602
足場工事	33,658	—	33,658	—	33,658
建築工事	—	151,784	151,784	—	151,784
材料販売	181,171	2,098	183,270	2,948	186,218
その他	—	—	—	500	500
顧客との契約から生じる収益	1,618,431	153,883	1,772,314	3,448	1,775,763
外部顧客への売上高	1,618,431	153,883	1,772,314	3,448	1,775,763

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。